



ブルーコーヒーロゴをラッピングした配送車両



2021年5月 受発注システム「ANOMU」導入・全拠点で運用開始



2021年7月 SR共生会幹事会開催(総会は書面開催)



珈琲の鮮度にこだわって焙煎



2022年1月設置型社食サービス「オフィスでやさい」正式導入



2022年5月 夏期展示会を3年ぶりに開催

駒谷珈琲株式会社 事業譲受

2021年10月1日、さんれいフーズは駒谷珈琲株式会社から食品卸売事業とコーヒー焙煎・販売事業を譲受しました。同社は兵庫県豊岡市に本社をおき、主に兵庫県新温泉町から京都府宮津市までの喫茶・レストランなどに食材卸を行うほか、京都府福知山市に珈琲焙煎工場を持ち、自家焙煎「ブルーコーヒー」ブランドの製造・販売を展開しておりました。豊岡市本社の業務は当社豊岡営業所に集約、福知山焙煎工場は当社「福知山珈琲ロースター」として継続稼働し、自家焙煎「ブルーコーヒー」ブランドも当社が引き継ぎました。また、この事業譲受に伴い、駒谷珈琲の従業員6名を当社に迎え入れました。

地元を根差す駒谷珈琲の顧客基盤を継承することで、北近畿エリアの深耕および基盤強化を一層努めてまいります。



製品開発プロジェクト

さんれいフーズは、自社ブランド製品の製品開発プロジェクトを立ち上げました。クリームコロッケ製品およびカニ製品に続く、新しい柱となる製品の創出を目指します。社外アドバイザーやコンサルタントを活用し、より美味しく付加価値の高い製品開発・販売を行ってまいります。



既存製品の改良にも取り組む

島根さんれい 健康経営の取組み

島根さんれいは健康経営への積極的な取組みが評価され、2021年8月に「ヘルス・マネジメント認定事業所」、2022年3月「健康経営優良法人2022 中小規模法人部門」に認定されました。今後も従業員の健康増進の取組みを進めてまいります。



ヘルス・マネジメント認定証交付式

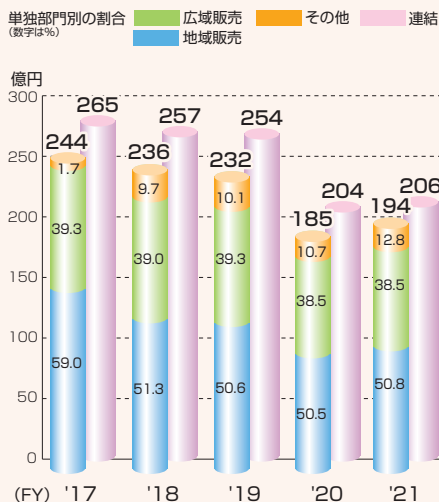
2021年度決算概況

2021年度の連結売上高は206億円(前期比101.0%)、連結経常利益2.9億円(同187.2%)と増収増益となりました。

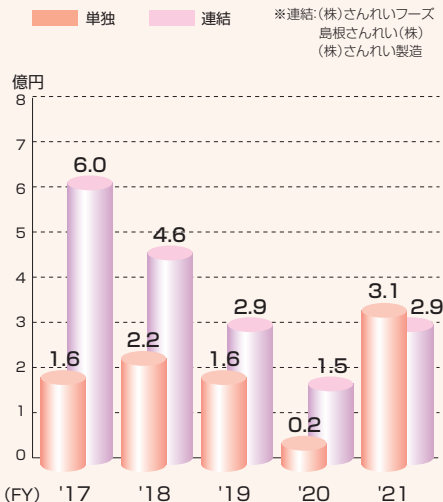
事業別では、地元食材卸である地域販売で、新型コロナウイルス感染による影響が続いているものの、自粛要請が前年より緩和されたことで外食関連が増加、売上高は98億9千万円(同105.2%)と前年を上回りました。

自社製品を全国に販売する広域販売においては、水産品原材料の減少と漁獲規制による高騰で、売上高は67億5千万円(同94.8%)と前年を下回りました。

売上高の推移(連結・単独)



経常利益の推移(連結・単独)



会社概要 (2022年 6月2日現在)

株式会社さんれいフーズ

本社 〒683-8506 鳥取県米子市旗ヶ崎2147
TEL (0859)33-6165 FAX (0859)34-9051

設立 1972年4月

資本金 1億円

従業員数 323名

役員 代表取締役社長 並河 元
常務取締役(管理部、企画部) 畠山 広幸
常務取締役(地域営業部、広域営業部、商品部) 門脇 寛行
取締役(物流部長) 永田 研一
取締役(製造部、開発部、総合品質保証部) 小笹 宏典
執行役員(広域営業部長) 角田 哲也
執行役員(管理部長) 吉野 成俊
執行役員(地域営業部長) 伊藤 哲也
執行役員(企画部長) 原田 健志
執行役員(開発部長) 古杉 亘
執行役員(商品部長) 佐々木 優和
執行役員(製造部長) 保田 実

監査役 安部 順吉
監査役 細木 晃

株式会社さんれい製造

本社 〒692-0011 鳥根県安来市安来町1054
TEL (0854)22-3138 FAX (0854)23-2686

設立 1987年10月

資本金 9,000万円

従業員数 146名

役員 代表取締役社長 小笹 宏典
取締役(総合品質保証部長) 坪倉 拓夫
取締役(製造部部長) 生田 誠
取締役(非常勤) 吉野 成俊
取締役(非常勤) 並河 元
取締役 保田 実
監査役 安部 順吉

鳥根さんれい株式会社

本社 〒697-0017 鳥根県浜田市原井町3050-7
TEL (0855)22-2456 FAX (0855)22-9548

設立 1999年1月

資本金 5,000万円

従業員数 93名

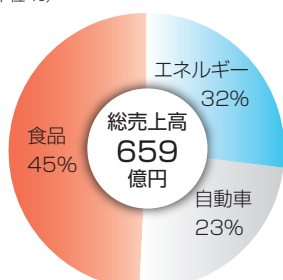
役員 代表取締役社長 長門 竹行
常務取締役(管理部長) 植松 広喜
取締役(萩営業所長) 大谷 豊
取締役(浜田営業所長) 畑岡 真次
取締役(非常勤) 並河 元
監査役 安部 順吉

山陰酸素グループ

山陰酸素グループは山陰酸素工業を中核企業とする同一資本の3業種12社2組合で構成する企業グループです。エネルギー関連、自動車関連、食品関連と多岐にわたる事業を山陰地方全域で展開しています。

2021年度グループ売上高構成比

※総売上高は各社の売上高を単純合算したものです(単位:%)



さんそ学習館 ケイオス

2021年度は、コロナ禍での新たな取組みとなった家族単位でのイベント開催、山陰内での修学旅行先としての利用など来館者数は前年度より倍増しました。開館5周年を迎える本年10月は「イベント月間」として、毎週末にイベントを開催する予定です。今後もより一層地域の方々に利活用されるよう、運営を続けてまいります。



修学旅行先として来館

グループ情報誌「motto」リニューアル

グループ各社の活動をもっと知っていただくための営業ツールとして使用し、顧客基盤を活かした営業展開を図っています。2022年3月にはリニューアルを行い、お客様がよりグループに親しみを持っていただけるような構成へ。またグループ社員が取扱う商品を理解し、一体感を持つことで営業の連携度UPを目指しています。



各社カウンターに配布し宣伝に役立っています